

昔話をきく会

令和3年5月28日

今日も『清野 吉巳』さんにお世話になって、うさぎ・きりん合同、遊戯室で「昔話をきく会」を行いました。鳥の“かつこう（郭公）”と“ほととぎす（不如帰）”を題材にした春にちなんで「昔話」をしてくれました。

いつも子どもたちにはちょっと難しい話ではあるのですが、清野さんも一生懸命子どもたちに話しかけてくれるし、それを聞く子どもたちも、よい姿勢で本気で聞く態度が見られます。この交流は、これからも大切にしていきたいと思います。

そんな子どもたちの姿をお知らせします。

（話を）「きく」というときに、「聞く」と「聴く」がありますが、“ただ”聞くのではなく、『耳』と『目』と『頭（心）』で「聴く」ことができるようになってほしいと思います。真剣な、本気な、夢中な時の子どもたちの目・頭は、普段とは違うと思います。



きりん組さんは、さすが1年先輩。昨年までの経験（学習）によって、よい姿勢で話を聞いていました。去年の今頃とは違います！（じゃ、去年は？）

うさぎ組さんは、清野さんの話を聞くのはこれが2回目。興味はもつけど、『きき方』はこれからの経験でできるようになると思います。＜指導していきます＞きりんさんもできるようになったのですから！



☆清野さんのお話の前に、園長から子どもたちへのお話として、昨日、『はらぺこあおむし』の作者であるカーンさんが亡くなられたということで、『はらぺこあおむし』の本を紹介しました。本の中で出てくる「葉っぱの穴」は、実際に幼稚園にある「キャベツ」の穴を見せました。

ご家庭では、『読み聞かせ』はされていますか？ 本（お話）が好きな子どもになってほしいと思います。

【お願い（確認）】

※市（幼稚園・保育課）からの文書で、この『コドモン』に関する「アンケート」協力依頼がありました。期限が、来週31日（月）までとなっていますので、よろしくお願いいたします。